

IPERC News Letter

千葉大学大学院看護学研究院附属
専門職連携教育研究センター

2021年度版

2020年度 IPERCのオンラインチャレンジ！ — ニューノーマルな教育/研修の新しい扉がひらいた —

令和2年度は、COVID-19の感染拡大による緊急事態宣言から始まりました。全国の大学は大きな影響を受け、千葉大学でも前期の対面授業はすべて中止となりました。また大学のインターネットなどの環境整備に時間を要したため、第1ターム、第2タームではほとんどすべての授業がオンデマンドで実施されることとなりました。

基礎教育におけるIPEは複数学部の学生と教員による共同学習、経験学習を基盤としています。そのため対面のグループワークができないことによる混乱はこれまで体験したことのないものでした。

この混乱は千葉大学の亥鼻IPEに限定したのではなく、世界的に専門職教育およびIPEは重大な影響を受けました。しかし、このことはIPEの可能性を切り開くきっかけとなり、世界中のIPEプログラムが仮想学習プラットフォームに劇的に移行しましたオンラインでの学生の学習達成状況を評価するために、いろいろなプロジェクトが動き出しています。

数年後に、「2020年度がターニングポイントだった」と思えるようないろいろな「芽」が出ていると思います。これからが楽しみです。

Topics

▶ オンラインでのIPE

- ・亥鼻IPEの教育活動実績（2020年度）
- ・災害時専門職連携演習
- ・グローバル IPE のプログラム化

▶ IPE・IPW研修のオンライン化

- ・IPE・IPW研修のオンライン開催
- ・開催実績
- ・地域貢献活動
- ・外部評価
- ・研究成果

▶ オンライン学会

- ・第13回日本保健医療福祉連携教育学会が盛会に終了

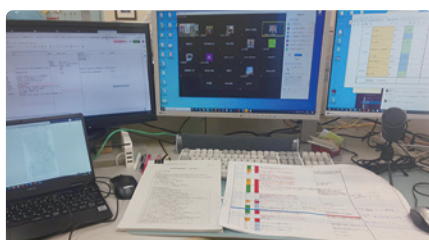
▶ 令和3年度 研修のお知らせ



▲IPE /IPW研修の
e-ランニングサイト



▲地域貢献活動



◀災害時専門職
連携演習の様子



▲亥鼻IPEStep4の様子

▶ オンラインでのIPE

2020年度は、MoodleやZoom、Google Classroomなどのアプリケーションを駆使して、亥鼻IPEをオンライン授業（オンデマンド型と同時双方向型）の形で開講しました。

亥鼻IPEの対面式で大人数のIPEを運営することについての課題の多くは、インターネットの中での空間で解決の方向に向かいました。一方、仮想空間でのグループワークや討議の課題もまた明確となりました。また、クリニカルIPE実習の実施には大きな制限がかかりました。

この中で、IPERCが担う事業のなかで変わらないこと、変えないことも明確になりました。たとえば変えなかったことの代表的なものとして、亥鼻IPEの学習到達目標があります。3学部必修の科目ですから、COVID-19の影響下において

も「やらない」という選択肢はありませんでした。世界の動向を見ていると、専門職教育を優先し、IPEをあきらめる教育機関も多くある中、やり遂げることができました。参加してくださった患者・利用者・家族のみなさま、医療福祉介護の現場で学生の質問に答えてくださった専門職のみなさま、3学部の協力教員のみなさまが、頻回のメールと遠隔会議で学習の目標と責任を共有してくださったことに深く感謝申し上げます。

また今年は、専門職連携に関する大学院科目を立ち上げました。東日本大震災から10年経過した今年は災害時専門職連携演習も遠隔で行うことになりました。徐々にIPEに関する理論の体系化を進めています。

亥鼻IPEの教育活動実績（2020年度）

本年度、亥鼻IPEを受講した学生は、総計1106名でした。

内訳（名）

Step1：331（医学部117、看護学部80、薬学部93、工学部41）

Step2：296（医学部124、看護学部84、薬学部88）

Step3：237（医学部110、看護学部84、薬学部43）

Step4：242（医学部118、看護学部80、薬学部44）

これらの亥鼻IPEには、延べ140名の各学部教員・附属病院の専門職が指導に携わりました。

内訳（名）

Step1：26（医学部4、看護学部12、薬学部7、工学部3）

Step2：21（医学部4、看護学部12、薬学部5）

Step3：32（医学部12、看護学部11、薬学部9）

Step4：61（医学部3、看護学部10、薬学部5、医学部附属病院
医師10名、同看護師12名、同薬剤師4名、同作業療法士2名、同理学療法士3名、同言語聴覚士1名、同社会福祉士6名、同心理カウンセラー1名、同遺伝カウンセラー1名、同管理栄養士3名）

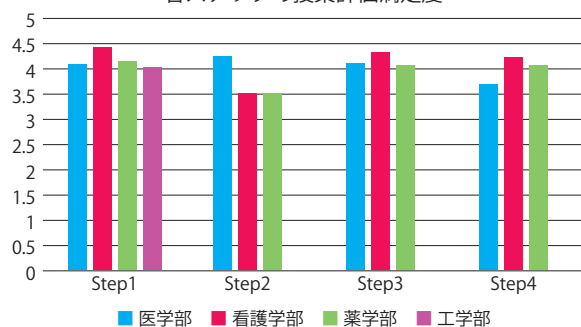
またStep1、Step2では、医学部附属病院をはじめ、千葉市内の病院その他の保健医療施設に、学生のメールインタビューでお世話になりました。

内訳（施設数）

Step1：福祉施設1

Step2：病院1、診療所5、薬局5、訪問看護ステーション1、保健機関・介護福祉施設1

各ステップの授業評価満足度



災害時専門職連携演習

2021年3月1日から3日まで、三日間にわたってオンラインにて開講しました。受講者3名（それぞれ高知県、兵庫県、千葉県から参加）、教員8名、演習協力者3名、TA13名の規模で実施しました。ZoomとGoogleシートなどを併用して、受講者同士でコミュニケーションを取りながら、マルチタスクを達成できるように、教員側で入念に事前準備を行いました。

この授業は、災害の種類及び局面に応じた被災者中心の専門職連携を実践できる能力を獲得することを目的とするもので、オンラインで同時双方向型的方式で開講するのは初めての体験でした。受講者が自宅にいながら受講できる便利さがある一方、仮想空間の中での連携ワークを体験する難しさを感じさせるような場面もありました。

グローバル IPE のプログラム化

COVID-19のパンデミックのなか、本年度は学生の留学および海外からの学生受け入れはできませんでした。しかし、グローバルIPEも歩みを止めることなく、オーストラリアのグリフィス大学、モナシュ大学と、引き続きグローバル IPE プログラム実現のための交渉を続けています。グローバル IPE のプログラム開発について助成金を獲得して、グリフィス大学及びモナシュ大学にそれぞれの大学の IPE 紹介動画の作

成を依頼するなど、教材開発を行いました。モナシュ大学はオンライン IPE プログラムの開発をしており、千葉大学のENGINE プログラムとして学生の参加ができるよう調整中です。カナダのオタワ大学とは、GIPE を含め、大学間協定あるいは学部間協定を結ぶ方向で交換留学プログラムの開発に向け話し合いを進めています。

IPE・IPW研修のオンライン化

IPE・IPW研修のオンライン開催

2018年に開始したIPE（専門職連携教育）・IPW（専門職連携実践）研修は、今年はオンライン方式で開催しました。6月にIPW理論編のラーニングサイトをオープンしました。受講者がインターネット上で理論編の受講を完了させることができました。また、Zoomなどアプリケーションを利用することで、IPE・IPW研修を同時双方向型に行いました。

2021年度も引き続きオンライン開催を予定しております。

今年度スタートした新たな事項として千葉大学医学部附属病院の新人職員研修あり方検討、および現任IPEプログラム開発のための検討があります。亥鼻IPEから継続したIPEプログラムの開発に着手できたことも大きな足跡だと言えます。

開催実績

IPEカリキュラムマネジメント&授業開発研修		2020年8月23日（日）、 2020年11月23日（月・祝）の2日間	3名
IPWマネジメント研修・ベーシック研修 理論編		2020年6月1日（月） ～2021年1月31日（日） eラーニング	25名
IPWマネジメント研修 実践編		2020年12月26日（土）	5名
IPWベーシック研修 実践編	職種間の理解	2020年10月13日（火）	9名
	チーム内の効果的なコミュニケーション	2020年10月20日（火）	9名
	チームワークの促進スキル	2020年11月10日（火）	10名
	対立の解決	2020年11月17日（火）	11名
	多職種カンファレンス	2020年12月8日（火）	10名

地域貢献活動

【コンサルテーション実績】1件
保健医療福祉機関の職員の専門職連携能力向上のための研修計画へのコンサルテーション

【講師派遣】15件 他大学、学会
企業、公益法人などから職員・学生
住民などへの IPE 関連の講義・セミナー・研修の講師

【研究協力依頼】12件 CICS29（専門職連携実践能力自己評価尺度）の使用許可

【事業委託】1件 千葉県からの受託研修「認知症にかかわる専門職の多職種協働研修」



▲研修用に開発したポスターとメモパッド

外部評価

令和2年度の事業実績について、外部評価委員の評価を受けました。COVID-19 対策によるメディア授業への転換が求められる中で、最善の方法を探りながら 亥鼻IPE を実行したことに、高い評価を頂きました。今後もIPERC のビジョンの達成に向けて少しでも歩を進めていきたいと思えます。

	IPERC 自己評価	外部評価委員評価			
		A	B	C	D
教育	B	3名	2名		
実践・社会貢献	A	4名	1名		
研究	B	1名	4名		
組織運営	A	5名			

研究成果

亥鼻IPE、IPW研修等の成果研究を国内外の学会や学会誌で発信しています。

【2020年度実績】

国内学会発表9件、学術誌掲載13件、学会基調講演3件など

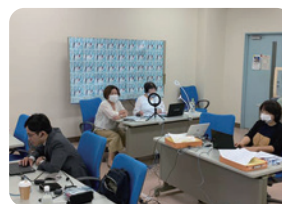
▶ オンライン学会

第13回日本保健医療福祉連携教育学会が盛会に終了

IPERC兼務教員の朝比奈真由美特任教授（医学部附属病院）が学術集会長を務めた、第13回日本保健医療福祉連携教育学会（JAIBE）学術集会を、2020年10月3日（土）から10日（土）まで、「IPE/IPLカルチャーの醸成～他職種への理解とリスペクトを育てる生涯学習～」をメインテーマにオンラインで開催しました。IPERCが事務局となり、3学部の教員が企画委員として活躍し、大会参加者数は学会史上最大人数であったことも特筆すべきことでした。

参加登録者は、関係者も含め182名で、非会員48名、学生32名を含みました。演題登録は46演題で、特にCovid-19感染予防対策下でのIPEの実践報告を緊急募集し、11演題の登録がありました。IPWに関する演題では、学部学生による多職種連携サークルの立ち上げと展開に関連した演題が3演題発表され、理事会長賞を受賞しました。

朝比奈学術集会長の講演、英国のLeicester大学、Elizabeth Anderson教授の特別講演のほか、シンポジウム二つ、ワークショップが開催され参加者の活発な参加があ



りました。また千葉大学卒業生ありのまま企画と題し、「IPEの経験と今現在のIPW」をテーマにした卒後1～4年目の医師・看護師・助産師・薬剤師の座談会も開かれ、興味深い議論が繰り広げられました。

令和3年度 研修のお知らせ

詳しくはHPをご確認の上、お申し込みください。 <https://www.n.chiba-u.jp/iperc/>



IPEカリキュラムマネジメント & 授業開発研修

IPERC研修2021【教員対象】

IPEカリキュラムマネジメント&授業開発研修

【費用】 100,000円（2日間）

【日程】 令和3年8月22日（日）、11月23日（火・祝）

IPWベーシック研修

今、現場で本当に必要な連携を実践

IPERC研修2021【実践者対象】

IPWマネジメント研修

理論編【費用】 10,000円 ラーニングサイトにて受講（定員100名）

実践編【費用】 20,000円

【日程】 令和4年1月22日（土）（定員10名、理論編受講済みの方対象）

IPWマネジメント研修

多職種連携を推進する組織づくり

IPERC研修2021【管理者対象】

IPWベーシック研修

理論編【費用】 10,000円 ラーニングサイトにて受講（定員100名）

実践編【費用】 1講座 6,000円

【日程】 令和3年10月12日（火） 職種間の理解

令和3年10月26日（火） チーム内の効果的なコミュニケーション

令和3年11月16日（火） チームワークの促進スキル

令和3年11月30日（火） 対立の解決

令和3年12月14日（火） 多職種カンファレンス

【発行】 千葉大学大学院看護学研究院附属 専門職連携教育研究センター

〒260-8672 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 ☎ <https://www.n.chiba-u.jp/iperc/>

☎ 043-226-2614 ✉ inohana-ipe@office.chiba-u.jp 2021年6月1日 通巻3号